平成３１年度

教育施策の概要

～「教育のまち・早島」推進アクションプラン～

平成３１年4月

早 島 町 教 育 委 員 会

目　　次

はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１

学校教育課

１　早島町教育委員会の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・２

２　学校園の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・４

３　学校教育の推進体制　・・・・・・・・・・・・・・・・５

４　学校教育の基本目標　・・・・・・・・・・・・・・・・６

５　本年度の目標　・・・・・・・・・・・・・・・・７

６　本年度の重点事業　・・・・・・・・・・・・・・・・８

７　本年度の目標指標　・・・・・・・・・・・・・・・１１

生涯学習課

１　生涯学習推進体制と施設　・・・・・・・・・・・・・・・１４

２　生涯学習推進の基本計画　・・・・・・・・・・・・・・・１６

３　本年度の重点事業　・・・・・・・・・・・・・・・１６

４　本年度の主要事業スケジュール　・・・・・・・・・・・・１９

５　社会教育施設の取組　・・・・・・・・・・・・・・・１９

はじめに

近年、第４次産業革命といわれる、進化した人工知能（ＡＩ）など、情報化やグローバル化といった社会的変化が人間の予測を超えて加速度的に進展してきており、予測困難な不透明な時代が到来する中、子どもたちは、変化を前向きに受け止め、社会や人生を、人間ならではの感性を働かせてより豊かなものにしていくことが求められています。こうした時代に、たくましくしなやかに生きていく人材を育てるためには、持続可能な社会の担い手づくりを視野に入れ、学校教育のよさを更に進化させていき、予測できない変化に受け身で対処するのではなく、主体的に向き合って関わり合い、その過程を通して、自らの可能性を最大限に発揮し、よりよい社会と幸福な人生を自ら創り出していくことが大切になります。そのためには、社会的・職業的に自立した人間として、伝統や文化に立脚し、高い志と意欲をもち、膨大な情報から何が重要かを主体的に判断し、自ら問いを立ててその解決を目指し、他者と協働しながら新たな価値を生み出していく力がまさに求められています。

こうした力を育むために、平成３２年４月から小学校、平成３３年４月から中学校の学習指導要領が全面実施されることを踏まえて、小学校英語や道徳の先行実施など、先を見据えた取組を進めているところです。また、「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、①よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標をもち、教育課程を介してその目標を社会と共有していくこと、②子どもたちが社会や世界と向き合い、自らの人生を切り拓いていくために求められる資質・能力を教育課程で明確化し育んでいくこと、③地域の人的・物的資源を活用し、放課後や土曜日等を活用した社会教育との連携を図り、学校教育を学校内に閉じずに、目指すところを社会と共有・連携しながら実現させて行くことを大切にしていきます。

また、授業等を通して学びの質を向上するために、①学校教育を通じて育む資質・能力（個別の知識・技能、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力・人間性等）と各教科等を学ぶ意義の明確化、②教育課程を軸に学校教育の改善・好循環を生み出す「カリキュラム・マネジメント」の実現、③生涯にわたって能動的に学び続けることができるよう「主体的・対話的で深い学び」に向けた、授業改善の取組の活性化など、単元や題材のまとまりの中で、「何ができるようになるか」を明確にして、「何を学ぶか」という学習内容と「どのように学ぶか」という学びの過程を組み立てていくことを大切にしていきます。

こうした国の動向は、まさに「早島町学校教育ビジョン」の目指す子ども像「地域とつながり、未来を拓く早島っ子」の育成につながっており、学校教育と生涯教育の融合のもと、保幼小中の一貫教育の推進、ＳＤＧｓを踏まえたＥＳＤの視点での生活科・総合的な学習の時間のカリキュラムの再構築、道徳教育・英語教育の充実、演劇の手法を用いたアクティブラーニングの授業づくり、大学との連携などを進めてまいります。「チーム早島」として、社会に開かれた教育課程や学びの質を向上することで、「次世代の学校」を構築するとともに、「早島から世界への扉を開く」をスローガンに、義務教育学校導入への検討も重ねながら、協働・協学・協育の町づくりに向けて着実に前進していきたいと考えています。

早島町教育長　徳山　順子

学 校 教 育 課

１　早島町教育委員会の状況

（1）　教育委員会の組織及び運営

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」により、教育委員会制度が平成２７年４月より次のように改正されました。

１　教育行政の責任の明確化

○教育委員長と教育長を一本化した新たな責任者（新教育長）を置く。

○教育長は、首長が議会同意を得て、直接任命・罷免を行う。

○教育長は、教育委員会の会務を総理し、教育委員会を代表する。

○教育長の任期は、３年とする（委員は４年）。

○教育委員会から教育長に対し教育委員会会議の招集を求めることができる。
また、教育長は、委任された事務の執行状況を教育委員会に報告する。

２　総合教育会議の設置、大綱の策定

○首長は、総合教育会議を設ける。会議は、首長が招集し、首長、教育委員会により構成される。

○首長は、総合教育会議において、教育委員会と協議し、教育基本法第１７条に規定する基本的な方針を参酌して、教育の振興に関する施策の大綱を策定する。

○会議では、大綱の策定、教育条件の整備等重点的に講ずべき施策、緊急の場合に講ずべき措置について協議・調整を行う。調整された事項については、構成員は調整の結果を尊重しなければならない。

３　国の地方公共団体への関与の見直し

○いじめによる自殺の防止等、児童生徒等の生命又は身体への被害の拡大又は発生を防止する緊急の必要がある場合に、文部科学大臣が教育委員会に対して指示ができることを明確化するため、第５０条（是正の指示）を見直す。

４　その他

○総合教育会議及び教育委員会の会議の議事録を作成し、公表するよう努める。

（2）　学校教育関係予算（平成３１年度予算―歳出―）　【単位:千円】

款	項	目	細目	H31 年度	H30 年度	比較
教育費（学校教育関係）				347,087	351,074	△3,987
	教育総務費			82,384	82,256	128
		教育委員会費		1,223	1,223	0
			教育委員会運営費	1,223	1,214	9
		事務局費		81,161	81,161	0
			教育長職員費	13,862	13,907	△45
			学校教育職員費	35,726	35,373	353
			学校教育行政運営費	3,093	3,352	△259
			一貫教育事業費	3,103	3,136	△33
			はやしま学推進事業費	5,710	5,649	61
			ＩＣＴ教育推進事業費	19,342	18,700	642
			教育振興補助事業費	25	25	0
			中学校における起業体験推進事業	300	900	△600
	小学校費			99,564	118,453	△18,889
		学校管理費		87,244	87,244	0
			小学校管理運営費	48,998	48,870	128
			小学校施設整備事業費	2,693	25,536	△22,843
			小学校職員費（給食関係）	12,082	11,425	657
			小学校給食関係費	17,666	17,419	247
			語学向上教育事業費	5,805	5,283	522
		教育振興費		12,320	12,320	0
			小学校就学奨励費	12,203	9,812	2,391
			小学校教育行政運営費	117	108	9
	中学校費			93,811	89,427	4,384
		学校管理費		85,046	85,046	0
			中学校管理運営費	40,803	41,579	△776
			中学校施設整備費	4,245	1,242	3,003
			語学向上教育事業費	5,572	5,283	289
			中学校職員費（給食関係）	20,389	20,034	355
			中学校給食関係費	8,182	8,177	5
			教育支援員活用事業	5,855	5,712	143
		教育振興費		8,765	8,765	0
			中学校就学奨励費	8,529	7,174	1,355
			中学校教育行政運営費	236	226	10
	幼稚園費			71,328	60,938	10,390
		幼稚園費		71,328	71,328	0
			幼稚園職員費	33,514	37,368	△3,854
			幼稚園管理運営費	24,147	20,307	3,840
			施設型・地域型保育給付事業	3,000	0	3,000
			幼稚園教育助成費	10,535	3,000	7,535

（一般会計）

	平成 31 度	平成 30 度	比較
予　算　総　額	4,764,000	4,781,000	△17,000

２　学校園の状況

（１）園児数・児童数・生徒数等（平成３１年４月現在）　　【 単位：人 】

年齢	早島幼稚園	参　　考(H31 年度４月)			
		早島保育園	かんだ保育園	わかみや保育園	住基人口
０歳		10	7	11	111
１歳		30	21	13	123
２歳		42	23	20	140
３歳	46	32	25	23	124
４歳	54	37	26	18	143
5 歳	46	37	27	21	138
計	146	188	129	106	779

学年	早島小学校		早島中学校	
	児童数	学級数	生徒数	学級数
1	132	4	128	4
2	117	4	100	3
3	116	4	113	4
4	146	5		
5	118	4		
6	131	4		
特別支援	知 14　情 39	8（知 2 情 6）	知 3　情 7	2（知 1 情 1）
合計	813	33	351	13

（２）学校教育施設校地面積

幼稚園　　３，８１８㎡

小学校　　１６，３５９㎡

中学校　　２０，９２６㎡

3　学校教育の推進体制

【単位：人】

（1）　学校教育課

課長	1
課長補佐	1
指導主幹	1
主事	1
教育支援コーディネーター	1
ふれあい教室支援員	4

（2）　早島幼稚園

園長	1
教諭	6
講師	2
保育支援員	3
預かり保育支援員	2

※　学校教育課の職員数及び早島幼稚園の職員数は、すべて町費の職員数を示す。

（3）　早島小学校

校長	1
教頭	2
指導教諭	1
教諭	33
養護教諭	1
栄養教諭	1
常勤講師	8
非常勤講師	4 (1)
登校支援員	2
小１グッド支援員	4
特別支援教育支援員	8
外国語指導助手(ALT)	1 (1)
情報教育支援員	1 (1)
外国語指導員	1 (1)
事務職員	2
教師業務アシスタント	1
学校司書	1 (1)
給食調理員	2 (2)
給食調理補助員	5 (5)
校務員	1 (1)

（4）　早島中学校

校長	1
教頭	1
主幹教諭	1
指導教諭	1
教諭	18
養護教諭	1
常勤講師	4
非常勤講師	3 (2)
学校司書	1 (1)
特別支援教育支援員	1 (1)
心の教室教育支援員	1 (1)
外国語指導助手(ALT)	1 (1)
情報教育支援員	1 (1)
事務職員	1
教師業務アシスタント	1
栄養士	1 (1)
給食調理員	2 (2)
給食調理補助員	2 (2)
校務員	1 (1)
武道講師	1 (1)
部活動指導員	12 (8)
授業改善推進員	1
初任者指導員	1

※　早島小学校及び早島中学校の職員数は、県費と町費の総職員数を示す。
（　）内の人数は、町費の職員数の内数である。

４　学校教育の基本目標

本町では、国の「第２期教育振興基本計画」を踏まえ、平成２５年１０月に「早島町学校教育ビジョン」を策定し、「地域とつながり　未来を拓く　早島っ子の育成」を実現するために、一貫教育の推進に努めています。平成２７年６月には、「教育のまち・早島」宣言を行い、協働・協学・協育の町づくりに向けて、様々な取組を進めているところです。

「早島町学校教育ビジョン」及び「教育のまち・早島」の具現化に向けては、次のことを基本目標に掲げ推進しています。

目指す子ども像　　**地域とつながり　未来を拓く　早島っ子の育成**

「地域とつながる」
早島っ子とは

①　早島町のことをよく知り、
早島町の歴史と現状、自然・社会・産業の特徴、すばらしさと課題などについてよく学び、理解する子どもを育てます。

②　早島町の発展のために協力・協働でき、
早島町の持続可能な発展のために、様々な地域住民と、様々な世代と協力・協働できる子どもを育てます。

③　早島町を愛し続けることができる子どものことです。
早島町の学校を卒業しても、早島町から転出しても、早島町のことを思い、誇りをもち、早島町の発展を願う子どもを育てます。

「未来を拓く」
早島っ子とは

④　「確かな学力」を身につけ、自主的・共同的に課題を解決できる力と、
基礎的・基本的な知識・技能を身につけるだけではなく、それらを活用・応用することで、自主的・共同的に課題に取り組み、解決する力を育みます。

⑤　高い志をもち、世界でも活躍できる力を身につけた子どものことです。早我が国の、そして世界の平和的な発展のために活躍できる力を育みます。具体的には、世界を視野に入れた将来への夢や希望・志、国際理解、外国語コミュニケーション力などです。

《育みたい資質能力》

自立（自立した一人の人間としてたくましく生きる）

共生（自他共に尊重し、主体的に社会や自然と関わる）

郷土早島を愛する心（郷土早島を大切に思い、世界に視野を広げ、よりより社会づくりに参画する）

このような「地域とつながり　未来を拓く　早島っ子」を育むために、
次のような教育を重点的に行います。

★　保幼小中の連携を強化し、小中一貫教育を推進します。

★　町民とともに学び、地域を考える「はやしま学」を実施します。

★　各学校・園と地域が連携して早島っ子を育てる仕組みを拡充します。

5　本年度の目標

（1）早島町学校教育ビジョンの更なる推進

早島町学校教育ビジョンの具現化に向けて、学校教育での「はやしま学」として、ＳＤＧｓの視点を踏まえたＥＳＤでの教育活動の再構築を行うとともに、義務教育学校に向けての整備検討も含め、保幼小中の一貫教育を更に進めていきます。また、生涯学習での「はやしま学」として、放課後・休日の「はやしま塾」、長期休業中の「わくわくサマーホリデイ教室」や「わくわく算数教室」、国際的な視野を身につける「英会話塾」や「はやしま国際塾」、環太平洋大学の留学生との「町探検ロゲイニング」や「外国の絵本の読み聞かせ」、知的好奇心をくすぐる大学や専門家との連携による「English Bus ツアー」や「科学バスツアー」など、多様性を育て、非認知能力を高める、豊かな学びに取り組んでいきます。

（2）学力向上に向けた授業改善の活性化

小学３年生から中学３年生を対象とした、全国（県）学力・学習状況調査（国語、算数・数学、英語、質問紙）の実施とともに、小学４年生から中学３年生を対象にした、町独自の学力調査（理科、社会）を実施して、児童生徒一人一人の経年比較をみとり、学習内容の定着や学習習慣を詳細に把握するとともに、授業改善推進員のもと、全教員で授業改善に取り組みます。また、児童生徒の自学自習力を育成するための「カルテック」や「スタディ・パスポート」の活用、読書活動の推進、スマホ・ゲームの「リミットスクリーン」への主体的な取組、保幼小中の全家庭で取り組む「チャレンジカード」の活用を通して、学習習慣づくりの定着や学力向上に向けて、家庭と連携して取り組んでいきます。

（3）不登校児童生徒の減少

登校支援員やふれあい教室支援員、学校、教育委員会等が連携を密にとり、「早期発見・チーム対応」を柱に、きめ細かなサポートや教育相談の充実、スクールカウンセラーや専門家の活用に積極的に取り組んでいきます。町ふれあい教室、中学校の心の教室での居場所づくりの充実とともに、人権教育の推進、あいさつ５つ星運動の奨励、hyperＱ-Ｕ調査（楽しい学校生活を送るためのアンケート）等の実施を通して、自他を尊重する温かい学級集団・学校園づくりを目指し、いじめや不登校の未然防止を図ります。

（4）ＥＳＤの推進　（ＥＳＤ：持続可能な社会づくりの担い手を育む教育）

生活科・総合的な学習の時間を中心に、ＳＤＧｓの内容を踏まえた単元学習プログラムを再構築し、探究活動の質の向上や育てたい資質能力の明確化、ＥＳＤカレンダーの作成、校種を超えた連携カリキュラムの再構築を図るとともに、教科を中心とした教科横断的な学習プログラムの作成に取り組み、全国発信していきます。また、「ボランティア・パスポート」の活用を通して、地域に誇りをもち、社会貢献のできる生徒を積極的に育成します。

（5）グローバル人材の育成（心の教育と英語教育の充実）

小中学校での道徳の時間の授業改善を要として、道徳教育推進教師のもと、学校全体で道徳教育の充実を図り、相手意識に立った国際人としての心の教育、共に生きる力を培います。また、英語教育において、小学校での英語教育・外国語活動を先行実施し、小中一貫したカリキュラムを作成するとともに、ＩＣＴを活用した授業づくりに取り組みます。英語検定受験応援制度を構築し、中学３年生までに英語検定３級以上を取得できる環境づくりを行い、英語をツールとしたコミュニケーション能力の育成を図ります。

６　本年度の重点事業　（★は平成３１年度重点事業）

重点項目	一貫教育の推進
目　的	確かな学力と豊かな人間性、健やかな健康・体力を備えた、幼児・児童・生徒の育成に資するよう一貫教育の推進を行う。
計　画	・保育園・幼稚園・小学校・中学校の１５年間で目指すべき子ども像を踏まえた、付けたい力を明確にした授業改善に取り組み、教員の指導力向上を図る。 ・学びの質や深まりに焦点をあて、各教科や道徳、総合的な学習の時間において子どもたちがより主体的に学習に取り組むための効果的な指導法について講師を招聘し、教員参画型の研修会を実施する。 ★義務教育学校の整備検討に向けて、「施設部会」と「カリキュラム部会」を立ち上げる。 ★ＳＤＧｓの内容を踏まえたＥＳＤカリキュラムの構築を図る。 ★小中学校でＮＩＥ教育に取り組み、思考力・表現力等を育成する。 ★学校園に設置したボルダリング・スラックラインを活用し、体幹を鍛え、集中力・思考力を磨く。 ・小学４年生～中学３年生（理科・社会）の町学力調査を行い、児童生徒の学力を把握・分析し、教育指導の成果と課題を検証し、経年比較を行うとともに、全教職員で授業改善を徹底することで教育効果を高める。 ・小学４年生～中学３年生まで年２回実施する hyperQ-U調査の活用により、児童生徒一人一人の多面的理解や学級集団への所属感などを把握し、いじめ・不登校の未然防止と早期発見に努める。 ・はやしま学園運営協議会では、幼小中の共通項目と独自項目で、学校関係者評価を実施し、保護者・地域・有識者の意見を反映する。

重点項目	社会とつながり未来を拓く、「はやしま学」の推進
目　的	早島町学校教育ビジョンに基づき、「はやしま学」への支援体制を構築する。
計　画	・教育支援コーディネーターを中心に、放課後・土曜はやしま塾、土曜英会話塾、はやしま国際塾、ロゲイニング、大学や専門家との連携による教育活動等を企画・運営し、学校外での子どもたちの学びの場を提供する。 ・教育支援コーディネーターを中心に支援体制を構築し、大学生や留学生の確保、地域住民、保護者による「早島っ子サポートボランティア」の人材確保をする。 ★「ボランティア・パスポート」を活用し、生徒の社会貢献意識を高め、地域行事への積極的な参加を促す。 ★大学や専門機関と連携した「English Bus ツアー」や「科学バスツアー」など、知的好奇心を高める子ども大学を開催する。 ・「子ども議会」「子どもと大人の熟議」「はやしま子どもフォーラム」「早島英語暗唱コンテスト」「中学生だっぴ」「早島 English Day」等を活用し、社会に開かれた提案発信や学びの場づくりを行う。　【１３ページ図参照】

重点項目	放課後学習サポート事業
目　的	放課後の児童生徒の補充学習・発展学習を行い、学力向上を図る。
計　画	★小学校では、毎週水曜日の放課後、小学１～３年生を対象に、算数のプリント学習や単元別確認課題等を中心に、下学年の復習問題や発展問題にも取り組み、学力向上を図る。 ★中学校では、毎週水曜日の放課後、数学・英語の補充学習を行い、教員や支援員が学習支援を行い、学力向上を図る。 ・「スタディ・パスポート」を活用し、児童生徒自らが学習目標や学習計画を立てることで、自学自習の力を育み、学習意欲の向上を図る。 ★学校の授業や家庭学習で、Web 教材（カルテック）を活用し、自らの学習状況に合わせ、プリント等を活用して学力向上に努める。

重点項目	不登校対策事業
目　的	町ふれあい教室を開室し、不登校児童生徒の心の支援や学習サポートを行う。
計　画	・町ふれあい教室に支援員を週５日配置することで、教育委員会と学校が連携して不登校児童生徒の生活リズムの向上や学校への登校を促す。 ・不登校対策担当者会を２か月に１回実施し、登校支援員、担当教員及び教育委員会が情報を共有したり講師を招いて研修したりすることで、不登校児童生徒の早期解消、未然防止に取り組む。 ★町で「不登校親の会」を年３回開催し、個別相談や保護者会を通して、子どもへの思いや願い、学校への期待を聴き取り、保護者支援・学校支援を行う。 ・小学校に登校支援員２名配置して、校門前等で児童へのきめ細かな支援を行う。 ★スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを効果的に活用する。

重点項目	ＩＣＴ教育の推進
目　的	ＩＣＴ機器の活用により、児童生徒の学習意欲の向上、校務の情報化による教員の事務負担の軽減等を図る。
計　画	・小中学校への情報教育指導員の配置を継続する。 ★小学校にメディアルームを新設し、アクティブラーニングの授業づくりを行うとともに、iPad の効果的な利活用で授業の充実を図る。 ★ペーパーレスの職員会議やコラボノートの活用など、ＩＣＴ機器の活用を通して、児童生徒と触れ合う時間を確保する。 ・小学校でのプログラミング教育の実施に向けて、教職員研修の実施や情報教育推進に向けたリーダーの育成を行う。

重点項目	小学１年生グッドスタート事業
目　的	入学した小学１年生に対して生活習慣確立の支援を行う。

計　画	・小学１年生の生活習慣の確立や基礎学力の向上のために、４～１２月（県費４月～１０月、町費１１・１２月）の間、教育支援員を雇用し教育の充実を図る。

重点項目	グローバル人材育成事業
目　的	外国や日本の文化に慣れ親しみ、英語でのコミュニケーション能力を高め、国際的視野を広げる。
計　画	・小学校での英語教育を先行実施し、英語専科の教員を配置する。 ・英語をツールとした英語授業の充実に向けて、ＡＬＴ（外国語指導助手）を小学校・中学校に各１名配置し、幼稚園には毎週水曜日に小学校のＡＬＴが行く。 ・英語暗唱コンテストを開催し、国際人としての基礎を培う。 ・土曜英会話塾では、小学５年生～中学３年生を対象に、年１５回開講し、実践的な英語表現を身に付ける機会を提供する。 ★小学５・６年生の英語の授業で、オンライン英会話を行い、実践力を高める。 ★中学校の英語授業でＩＣＴ「トレパ」を活用し、４技能の充実を図る。 ★環太平洋大学の留学生とのロゲイニングや、英語・母国語での絵本の読み聞かせ、English Bus ツアー等を通して、異文化理解への視野を広げる。 ★英語検定３級以上の取得に対して、同一級１回のみ受験料を無料とし、受検者の増加を図る。

重点項目	教育支援員活用事業
目　的	支援を要する児童生徒のサポートや別室登校者への対応等、個の教育ニーズを把握し適切な支援を行う。
計　画	・小中学校の特別支援学級への支援員配置や、中学校の心の教室への支援員配置等により、きめ細かな生活支援や学習支援を行う。 ・教員の指導力向上や児童生徒理解に向けて、専門家アドバイザーの派遣を行い、学校が安心して過ごすことができる居場所になるようサポートする。

重点項目	子育て支援の充実
目　的	幼稚園保護者の子育て支援を行う
計　画	・保護者の子育て支援をサポートするために、預かり保育の指導員を配置し、幼稚園の放課後等で預かり保育を行う。 ・幼稚園の園庭を月１回開放し、就学前の保護者と子どもの支援を行う。 ★ボルダリングを活用し、園児の体幹づくりを行う。 ★食育推進のため、幼稚園で４・５歳児を対象に給食を導入する。

重点項目	学校図書館と町立図書館とのネットワーク化
目　的	小中学校図書と町立図書館をネットワークでつなぐことで、蔵書検索が容易にな

	るなど、利便性を向上して図書館の利用を促進する。
計　画	・児童生徒の図書館に利用率の向上と、家庭での読書量の拡大を図る。 ★学校と町立図書館をつなぐことで、授業での図書館活用や読書活動の利便性を高める。

7　本年度の学校指標

（1）学校教育ビジョンの推進

項目	指標	評価方法	H30	目標
一貫教育の推進	校種間の連携を大切にした教育活動を行っている教員	教員アンケート	小 67% 中 84%	90%
	保幼小中が一貫した教育活動に取り組んでいると思う保護者	保護者アンケート	小 75% 中 77%	80%
はやしま学協働本部との連携	スタディ・パスポート（はやしま塾等）を積極的に活用する児童生徒	児童生徒アンケート	小225名 中 79名	270名 100名
	英検・漢検・数検に参加する児童生徒	延べ参加者数	小162名 中203名	250名 300名
	校内での早島っ子サポートボランティア（授業支援、環境美化等）の活用	延べ参加者数	小144名 中108名	200名 150名
	学校外の人材の活用を通して、子どもの総合的な学力が伸びていると思う保護者	保護者アンケート	小 54% 中 52%	80%

（2）学力向上に向けた授業改善の推進

項目	指標	H29	H30	目標
全国学力･学習状況調査(平均正答率)の全国平均との差	すべての教科で全国平均を５ポイント以上上回る。【小６、中３】	【小６】 国Ａ：　3.1 国Ｂ：　3.0 算Ａ：　-0.3 算Ｂ：　1.5 【中３】 国Ａ：　1.5 国Ｂ：　3.2 数Ａ：　0.3 数Ｂ：　-1.3	【小６】 国Ａ：　-1.1 国Ｂ：　-1.3 算Ａ：　-3.9 算Ｂ：　-2.4 【中３】 国Ａ：　1.6 国Ｂ：　1.4 数Ａ：　0.3 数Ｂ：　-1.3	+5pt

項目	指標	評価方法	H30	目標
授業研究の推進	授業は分かりやすく楽しいと思う児童生徒【小４以上】	児童生徒アンケート	小 86% 中 81%	90%
思考力・判断力・表現力の	思考力を深めたり、表現力を育成したりするための授業工夫を行っている教員	教員アンケート	小 89% 中 92%	100%

育成	進んで自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることができる児童生徒【小４以上】	児童生徒アンケート	小 68% 中 67%	80%
岡山型学習指導のスタンダードの実践	「めあて」を明示し、「まとめ」「振り返り」のある授業展開【小４以上】	児童生徒アンケート	小 87% 中 88%	100%
ＩＣＴ機器等の活用	児童生徒の興味・関心を高めるため、効果的にＩＣＴ機器を活用している教員	教員アンケート	小 89% 中 92%	100%
	ＩＣＴ機器を使った授業が分かりやすいと思う児童生徒【小４以上】	児童生徒アンケート	小 85% 中 86%	90%

（３）学校での居場所づくり

項目	指標	評価方法	H30	目標
学年・学級の充実	自分は周りの友だちから認められていると思う児童生徒	児童生徒アンケート	小 72% 中 66%	90%
	学級の絆づくりに向けて、hyperＱ-Ｕ調査を積極的に活用して多面的な児童生徒理解をしている教員	教員アンケート	小 56% 中 92%	100%

（４）自己指導力の育成

項目	指標	評価方法	H30	目標
リミット・スクリーンの定着	ゲームやスマホの使用時間を自ら制限できる児童生徒	児童生徒アンケート	小 66% 中 78%	85%
家庭学習の定着	自ら計画を立てて学習できる児童生徒【小４以上】	児童生徒アンケート	小 63% 中 72%	85%
	平日に、家庭学習（塾等含）に１時間以上取り組んでいる児童【小６】	児童アンケート	小 71%	80%
	平日に、家庭学習（塾等含）に２時間以上取り組んでいる生徒【中３】	生徒アンケート	中 26%	70%
よいマナー・規範意識の向上	学校に来るのが楽しいと思う児童生徒	児童生徒アンケート	小 88% 中 79%	95%
	地域の人に進んであいさつをしている児童生徒	児童生徒アンケート	小 89% 中 86%	95%

（５）ＥＳＤの推進

項目	指標	評価方法	H30	目標
探究的・協同的な取組	生活・総合的な学習の時間に、問題解決に向けて自ら熱心に取り組んでいる児童生徒	児童生徒アンケート	小 68% 中 86%	95%
	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある児童生徒【小６以上】	児童生徒アンケート	小 62% 中 63%	80%
地域貢献活	地域の環境整備やボランティアに参加している生徒【中学生】	生徒アンケート	中 68%	75%

動の推進	地域の行事に参加している児童生徒	児童生徒 アンケート	小 64% 中 54%	75%

（6）心と身体の健康づくり

項目	指標	評価方法	H30	目標
道徳の時間の質の向上	道徳教育の充実を通して、子どもたちの思いやりの心が育っていると思う教員	教員 アンケート	小 75% 中 84%	100%
	道徳の時間で、話し合ったり書いたりする活動を通して、自己の生き方についてしっかり考えている児童生徒【小５以上】	児童生徒 アンケート	小 83% 中 86%	90%
教育相談の充実	悩み事や困ったことを相談しやすいと思う先生がいると思う児童生徒	児童生徒 アンケート	小 76% 中 91%	90%
読書の推進	家庭で、３０分以上読書をする児童生徒（マンガや雑誌は含まない）	児童生徒 アンケート	小 25% 中 33%	60%
体力の向上	身体づくりに向け、体育の授業や外遊びなどに意欲的に取り組む児童生徒【小５以上】	児童生徒 アンケート	小 84% 中 86%	90%

（7）開かれた学校

項目	指標	評価方法	H30	目標
学校広報の充実	学校・学年だより、ホームページなどを通して教育活動の様子や情報をよく伝えていると思う保護者	保護者 アンケート	小 82% 中 85%	95%

【参照】

地域とつながり　未来を拓く

早島っ子応援事業

土曜日等教育支援

◆学力・体力向上
・土曜はやしま塾
・わくわくサマーホリデイ教室
◆グローバル人材の育成
・土曜英会話塾　・科学教室
・English Bus　・英語暗唱大会
◆地域発信の場づくり
・子ども議会　　・熟議
・はやしま子どもフォーラム

放課後子ども教室

◆学力・体力向上
・放課後はやしま塾
・放課後子ども教室

学校支援
（はやしま学協働本部）

◆授業等の学習支援
・学校行事支援
・授業支援
・学校環境整備
・登下校の見守り
・放課後学習支援

地域未来塾

◆地域での学習支援
・はやしま塾
・「わくわく算数教室」
・英語、漢字、数学検定
・Web 教材「カルテック」の活用

家庭教育支援

◆「親育ち応援学習プログラム」を活用した養成講座の開催
◆「親プロ」のファシリテーターによる保護者支援
◆教育相談活動等の実施
・保護者との教育相談
・ケース会議の実施
◆就学前の保護者支援
・プレーパークの定期的な開催
・「すくすくハート」子育て相談
・「子育てサロン」の広報
◆よりよい生活習慣づくり
・「チャレンジカード」の実施
・「リミットスクリーン」の徹底

生 涯 学 習 課

1　生涯学習推進体制と施設

【推進体制】

生涯学習課

課長	1	（兼町民総合会館館長）

＜社会教育係＞

課長補佐	1	
主任	2	（社会教育主事）
一般職非常勤職員	1	（兼中央公民館館長）
一般職非常勤職員	1	

＜芸術・文化係＞

課長補佐	1	（兼務）
一般職非常勤職員	3	

中央公民館

一般職非常勤職員	1	

図書館

図書館長	1	（一般職非常勤職員）
司書	2	（主査）
一般職非常勤職員	5	

いかしの舎管理

指定管理者による管理

社会体育施設管理

一般職非常勤職員	1	（グランド等整備）
委託（シルバー）		（グラウンド・ゴルフ場）

【社会教育施設】

- 生涯学習課
  - 中央公民館
  - 図書館
  - 町民総合会館
  - いかしの舎（指定管理）
  - 歴史民俗資料館
  - 花ござ手織り伝承館
  - 戸川家記念館
  - 南グランド
  - 若宮グランド
  - 宮山グランド
  - 深砂グランド
  - 矢尾グラウンド・ゴルフ場
  - 町民テニスコート（中央公民館）
  - 深砂テニスコート
  - さつき荘
  - いぶき荘
  - 西コミュニティセンター

社会体育施設：南グランド～深砂テニスコート

コミュニティハウス：さつき荘～西コミュニティセンター

２　生涯学習推進の基本計画

（１）基本目標

協働・協学・協育の町づくり～地域に学び、地域の主体を育てる、社会教育の推進～

（２）重点施策

①個々の学びに応える環境の整備
②地域課題や社会的課題の解決に向けた学習機会の提供
③地域コミュニティの活性化に向けた取組
④「はやしま学」の実践
⑤芸術・文化活動の振興と歴史的資産の保護、活用
⑥スポーツ・レクリエーション活動の振興

３　本年度の重点事業

事業名	「まなびの舎」の講座・教室の充実
目　的	自己研鑽の場を提供するとともに、その成果を地域に生かす生涯学習のリーダーを育成する。
計　画	★「まなびの舎」の講座内容をより充実させて実施する。健康・歴史・ＥＳＤ（ふるさと）の３分野の講座を実施し、大人はやしま塾として地域への愛着や誇りを感じる、より充実した内容にする。 ・小学生との合同実施や地元企業や団体との連携を増やすことで、より地域への愛着につなげる講座とする。 ・受講者が取得した単位により、サポーターや講師に認定し、講座の運営等に参画できるようにする。また、「まなびの舎だより」や広報誌での更なる周知に努める。 ★「まなびの舎」での学びを地域に還元する仕組みをつくり、認定者や講師認定者には、地域の中でコーディネーターとして活躍できるようにする。

事業名	社会教育施設の整備事業
目　的	施設の整備を行い、利用しやすい環境づくりを目指す。
計　画	★西コミュニティセンター前にフェンスの設置と老朽化したエアコンの取替えを行う。 ★ゆるびの舎の１階トイレの洋式化、ロビー天板防水工事を行う。 ★文化ホール音響機材とトレーニングルーム用バイクを購入する。 ・戸川家記念館前民具倉庫の床タイルの修繕を行う。 ・町立図書館の小荷物昇降機のブレーキ制御回路の取替修繕を行う。

事業名	地域コミュニティの活性化
目　的	希薄化した地域コミュニティの再構築を図る。
計　画	・夏まつりや町民運動会、町民ソフトボール大会、生涯学習まつりなどのイベントを通して、内容の充実・工夫を図るとともに、実行委員会等を活用して、町民相互の更なる交流を図る。 ★中学生・高校生ボランティアの活躍の場を設け、町の行事で中高生が活躍することで地域コミュニティの活性化を図る。

事業名	地域ぐるみによる教育体制の構築
目　的	学習支援や体験活動を中心とした「はやしま学」を通して、地域ぐるみの教育体制を築きながら、郷土愛を深め、社会貢献意識を高める。
計　画	・土曜日・放課後・長期休業日を利用し、はやしま塾、ロゲイニング、国際塾、英会話塾、夏休みわくわくタイム等の事業を行い、補充学習や発展学習、体験学習など魅力ある講座の充実を図る。 ★バスの中で英語に親しむとともに、大学を学びの場として、大学の先生から英語授業を受けるなど、「English Bus」を実施する。 ★「人と科学の未来館サイピア」の科学教室と連携し、専門的な科学に触れることで、子どもたちの知的好奇心を育てる場づくりを行う。 ・地域の方や教職員等がスタッフ・講師として参加するなど、地域ぐるみで子どもを育てる教育体制の構築を目指す。 ・ロゲイニングや絵本の読み聞かせ等で、環太平洋大学の留学生と、早島の魅力を再発見するとともに、世界への視野を広げる。 ★長期休業中の小学生に、「わくわくサマーホリデー教室」や「わくわく算数教室」を開催し、様々な体験活動によって視野を広げる。 ・国際塾や英会話塾では、国際的に活躍する人物や外国人の講師、留学生と触れ合いなどを通して、国際的な視野を広げるとともに、異文化理解を深める。 ★数学検定・漢字検定・英語検定３級以上の取得を目指し、支援体制をつくる。

事業名	歴史的遺産の活用
目　的	不老の道の灯篭にあかりを灯すことで、いにしえの歴史を振り返り、歴史・文化的遺産の更なる価値をもたせる。
計　画	★不老の道の灯篭（１４基）にソーラー式充電ライトを設置し、歴史・文化的遺産の新しい魅力を引き出す。

事業名	健康づくりとスポーツ活動の推進
目　的	町民の運動習慣の確立とニュースポーツの普及に努め、健康づくりを推進する。
計　画	★総合型地域スポーツクラブを設置し、ボルダリング、スラックライン、花ござピンポン、グランドゴルフ等のスポーツを通して、運動の楽しさを体感したり、世代間交流をする場を設ける。 ・ラジオ体操の推進やウォーキング講習会を開催し、町民の運動習慣の定着の支援を行う。

事業名	子育て支援の充実
目　的	親育ち応援プログラムファシリテーター養成と親プロの実施、家庭教育支援チームによる訪問支援や教育相談を一体的に行い、地域全体で家庭教育支援をする体制の構築を図る。
計　画	・ファシリテーター養成講座を開催し、ＰＴＡ保護者、教職員や地域の方をファシリテーターとして養成し、親プロ等のワークショップを実施し、家庭教育支援に努める。 ★プレーパークを定期的に開催し、就学前の保護者の子育て支援を行う。 ★家庭教育支援チーム「すくすくハート」による教育相談や子育て研修会を開催したり、家庭訪問等で家庭教育の情報提供や子育て相談等をすることで、よりきめ細やかな子育て支援に努める。

事業名	ゆるびの舎　自主事業の充実
目　的	町民の芸術・文化意識の向上を図るために、様々なジャンルの場の設定を行う。
計　画	★「音楽の森（ズーラシアンブラス）」を開催し、親子で本格的な音楽に触れる機会を提供する。 ★心と身体の健康づくりを目的にお笑いの公演を開催する。 ★様々なジャンルの場の提供として、高校生演劇を開催する。

事業名	図書館活動の充実
目　的	図書館機能を活かした読書活動の推進を図る。
計　画	★町立図書館と小中学校図書館とのネットワーク化の実施により、早島町内の読書環境の充実や読書量の拡大を図る。 ★朗読や図書館チャレンジ体験等、講座や体験活動の充実を図る。 ・留学生との外国の絵本の読み聞かせを行う。 ・子育て支援として、スタディースペースや絵本コーナーの充実を図る。

４　本年度の主要事業スケジュール（資料１参照）

５　社会教育施設の取組

（１）中央公民館

中央公民館は、地域の人々が自主的に学び合い、交流する場として、生涯学習活動・地域コミュニティ活動の中心的施設であり、こうした活動をサポートするために、「町民活動支援センター」のコーディネート機能の充実を図ります。

（２）図書館

高梁川流域と岡山連携中枢都市圏の広域相互利用の本格実施により、図書館の図書冊数の充実や読書しやすい環境整備を行っていきます。また、町立図書館、小学校・中学校図書館のネットワーク化を活用して、町内全体の読書環境の充実を図ります。

（３）町民総合会館

１階トイレの洋式化、ロビー天板の防水工事等に取り組み、過ごしやすい環境づくりを行います。また、文化ホールの自主事業の充実や、音響機材とトレーニングルーム用のバイクを購入することで、心と身体の健康づくりに寄与します。

（４）いかしの舎

指定管理者により柔軟な発想で企画・運営を行い、より充実したサービスの提供を行います。

（５）歴史民俗資料館・花ござ手織り伝承館・戸川家記念館

歴史民俗資料館は、イ草で栄えた歴史文化を伝える場として、花ござ手織り伝承館は花ござ手織技術の体験・伝承の場として、戸川家記念館は、旗本戸川家の資料展示による昔の人々の生活を感じられる場として、大切な誇るべき地域資源です。また、戸川家記念館前民具倉庫の床タイルの修繕を行います。全国的に誇るべき特色ある施設を町内外へ広報・情報発信するとともに、観光ボランティアガイドと連携し、観光資源としての活用や、「はやしま学」の学びの場としての活用を広めていきます。

（６）矢尾グランド・ゴルフ場

多くの方が利用しやすいよう、サマータイム（６月～９月）に取り組むとともに、芝生や土の環境整備等に留意していきます。

（７）その他の社会教育施設等

西コミュニティーセンターのフェンスの設置、老朽化したエアコンの取替えなど、安全で快適な環境整備や利用者が利用しやすい環境づくりに努めます。

資料1

平成31年度主要事業の日程

生涯学習課

月日	曜日	事業名	場所
4月21日	日	春季早島町民ソフトボール大会	南グランド、深砂グランド
5月26日	日	健康ウオーキング大会	近隣市内
7月15日	月	アンサンブル早島サマーコンサート2019 in ゆるび	町民総合会館　文化ホール
7月20日	土	吹奏楽フェスティバル2019	町民総合会館　研修室
7月 or 8月		親育ち応援学習プログラムファシリテーター養成講座	町民総合会館　研修室
8月8・22・28日	木・水	夏休み子どもお話会	町民総合会館　文化ホール
8月10日	土	備中はやしま夏まつり	南グランド
8月12日	月	お笑いライブ（出演者調整中）	町民総合会館　文化ホール
8月中旬	土	第1回古典文学講座	町民総合会館　研修室
9月中旬	土	第2回古典文学講座	町民総合会館　研修室
9月29日	日	音楽の絵本	町民総合会館　文化ホール
10月6日	日	町民運動会	南グランド
10月13日	日	生涯学習まつり（～11／3）／クラブグループ発表（予定）	町民総合会館、公民館　等
10月19・20日	土・日	みんなのスタンウェイ・ピアノリレーコンサート	町民総合会館　文化ホール
10月27日	日	第11回　児島湾干拓和太鼓フェスティバル	町民総合会館　文化ホール
11月3日	日	生涯学習まつり・いきいき広場	中央公民館　外
11月10日	日	秋季早島町民ソフトボール大会	南グランド、深砂グランド
11月23日	土	第2回はやしまIGUSA花ござピンポン世界大会	早島中学校
12月8日	日	早島ふるさと音楽祭2019	町民総合会館　文化ホール
1月5日	日	第5回”ゆるび”ニューイヤーコンサート	町民総合会館　文化ホール
1月12日	日	早島町成人式	町民総合会館　文化ホール
2月2日	日	早島町マラソン・駅伝大会	早島町役場前
2月16日	日	第22回”ゆるび”コーラスフェスティバル	町民総合会館　文化ホール
2月23日	日	あつまれ子どもたち～お話の世界へさあ行こう～	町民総合会館　文化ホール
3月21・22日	土・日	高校演劇 in ゆるび（仮称）	町民総合会館　文化ホール

※毎月　第3土曜日　プレーパーク　　ぞうさん広場 等

毎月　第4金曜日 ”ゆるび”WEEK END”コンサート　町民総合会館 エントランスホール